

日本環境感染学会教育委員会主催 医療疫学トレーニングコース実施概要

2011年8月1日

昨年度に引き続き、本学会教育委員会の主催により、医療疫学(Healthcare Epidemiology)のトレーニングコースを開催いたします。概要を下に示します。申し込み方法については、参加募集要項をご覧ください。尚、本トレーニングコース全プログラム修了者には修了書が授与されます。

目的: 医療関連感染に関する疫学と集団発生(アウトブレイク)の原因調査に関する知識を備えた病院疫学者を育成すること。

目標: 本トレーニングコース修了時点で、受講者は

1. 医療関連感染の集団発生(アウトブレイク)調査に必要な疫学ならびに統計学の基本的知識を習得できる。
2. 集団発生の原因調査の手順に関する知識を習得できる。
3. シュミレーション演習を通し、集団発生調査のデータの解釈の仕方、原因探究の実際のプロセスを理解できる。

注: 本トレーニングコースは、集団発生の現場対応の実際を習得することを目的とはしていない。

日時: 2011年11月19日・20日(土曜日・日曜日)

場所: 東京医科歯科大学(東京都文京区)

募集人数: 40名。

募集時条件: (以下の3つを満たしていること)

日本環境感染学会の会員であること

医療関連感染対策の分野における活動経験(5年程度)があること(どのような活動経験か、具体的にお書きください。例 ICT歴5年)

疫学・統計学に関する強い関心があること

参加費: 2万5千円(情報交換会会費込み)

タイムスケジュールおよび内容:

第1日目(11月19日)

8:30 ~ 受付開始。

8:50 ~ オリエンテーション。

9:00 ~ 12:00 疫学・統計学(1) 医療関連感染の集団発生時の原因調査に必要な疫学ならびに統計学に関する基礎知識を講義。アウトブレイクの文献例も提示。

13:00～15:15 Outbreak Investigation(1) 血液内科病棟における MDRP 感染症の集団発生事例を取り扱う。時、人、場所の情報などを整理し、疫学的アプローチによって事例の真相に迫る。興味深い結末が待っている予定。

15:30～17:00 国内 VRE 集団発生事例の紹介。

17:00～19:00 情報交換会(希望者のみ。コース申し込み時に希望を確認する。)

第2日目(11月20日)

8:30～10:00 疫学・統計学(2) 前日学習した疫学ならびに統計学の知識をもとに、文献の批判的吟味の実施。(批判的吟味に使用する文献は、参加申し込みが受理された後、本コース受講予定者に個別にお知らせする予定である。)

10:15～12:00 Outbreak Investigation(2) 簡単な計算式を用いた医療疫学の基本的な統計処理に必要な演算を学ぶ。実際には 2 乗検定を用い、曝露要因と疾患に対する変数(病棟、デバイスや使用薬剤など)からその曝露に対する危険度を求め、その期待値との間に有意差があるかどうか簡単な例題を基に考える。また、Web上で公開されている無料ソフトの紹介も加えて行う予定。

13:00～16:30 Outbreak Investigation(3) NICU(新生児特定集中治療室)で発生したセラチア菌保菌アウトブレイク事例を、小グループにわかれて検討し、アウトブレイクの原因を探る。検討結果を発表し、参加者全員で討議する。また、アウトブレイク解析で重要な分子疫学ツールである PFGE(パルスフィールドゲル電気泳動法)などについても解説を加える。

16:30～17:00 総括、修了書授与。

17:00 解散。